



教育推進室だより

第2号

平成27年7月10日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
電話60-1241



地域の教育力を活用した教育活動の充実を目指して

指導課長 指田 和浩



先日、市内の小学校を訪問したとき、まるで幼少期の頃にタイムスリップしたかのような気持ちになりました。なぜなら、こま回しや、けん玉、輪ゴムを使ったおもちゃなど、私自身が幼少のときに遊んだ道具を使って、子どもたちが楽しそうに活動していたからです。私も思わず子どもたちの中に入って、いっしょに遊んでしまいました。

これは、小学校の生活科で行った授業の一場面の様子ですが、実際子どもたちに指導しているのは、担任の先生ではありません。ゲストティーチャーとして学校がお招きした数人の地域の方々です。まるで、ご自分のお孫さんとでもいっしょに遊んでいるかのように、微笑みながら子どもたちに接している光景に、私自身心が釘付けになりました。そして、子どもたちも地域の方々にいろいろ聞きながら、楽しそうにそして熱心に取り組んでいるのが大変印象的でした。この授業は、子どもたちが日本の伝統文化に直接触れることができた、とてもすばらしい授業だったように思います。

さて、このような授業を学校の若い先生だけで行ったら、果たしてどこまでできるでしょうか。もちろん、こまの回し方やけん玉のやり方などは十分説明できると思います。しかし、今までこま回しで遊んだことのない先生方が指導するには限界があるように思います。経験のある地域の方々にご指導していただいているからこそ、子どもたちはこま回しやけん玉などに対して興味・関心をもち、一生懸命活動していたのではないのでしょうか。

開かれた学校づくりがますます進む中、地域の教育力を活用した教育活動を進めることは、子どもたちに本物のすばらしさを伝える上で、大変有効であると考えます。しかし、実際に指導をいただける方は中々見つからず、副校長先生をはじめ学校の先生方は人を探したり依頼したりする点で大変苦労している現状があります。

そこで、教育委員会では、副校長先生方の負担を少しでも軽減するために、「地域コーディネーター」という役割をもった方を、地域の方々にお問い合わせすることによって、人材発掘を担うためのシステムづくりを現在進めています。なお、地域コーディネーターとは、学校の教育活動に対する支援を行うための人材です。具体的には、5月1日から教育推進室に配置した、学校と地域、大学、企業等を結び合わせる「学校支援コーディネーター」との連携を図りながら、地域人材の活用の窓口として、地域人材の発掘や派遣のコーディネートを行う役割を担います。特に、地域コーディネーターをお願いする方は、各学校に設置している開かれた学校づくり協議会や青少年問題協議会との結び付きが深い方などが適任ではないかと考えていますが、人選の方法については今後検討していく予定です。

教育委員会としては、今後学校と地域の方々とを結び付ける教育推進室を発展させて、地域の教育力を活用した教育活動をますます充実させていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

地域力で子どもを守る

—平成 27 年度武蔵野市いじめ問題関係者連絡会議—

平成 27 年 5 月 25 日（月）に市役所にて行われました。

本会議は、本市におけるいじめ等の未然防止や早期解決へ向け、関係者が一堂に会し、いじめ問題に対する具体的な対応策・改善策に関する協議や意見交換を行うことにより、全市的な行動連携を深めることを目的として、平成 26 年度から年 1 回開催しています。今年度は、小・中学校長の 2 名、保護者代表として 2 名の P T A 会長のほか、杉並児童相談所、武蔵野警察署、青少年問題協議会、民生・児童委員、市民社会福祉協議会等の関係機関の方々など、19 名のメンバーで協議を行いました。具体的には「武蔵野市いじめ防止基本方針」

（平成 26 年 7 月）策定後の本市の取組やいじめ防止に向けた市内小・中学校の取組の紹介、教育支援センターやスクールソーシャルワーカー、子ども家庭支援センターからの報告の後、意見交換を行いました。

出席者の皆様からは、「教職員の組織的な対応とともに、児童・生徒自身に考えさせ、主体的に取り組ませることが大切である」「教職員と児童・生徒の日頃のコミュニケーションと信頼関係の構築がいじめの早期発見・早期解決につながる」「いじめの防止には、保護者同士や地域のつながりの他、関係機関のいじめ解消の仕組みづくりも重要である」などのご意見をいただきました。

これらのご意見を踏まえながら、今後もいじめ防止に向けた取組を一層充実させていきたいと思っております。以下が本市で策定した「武蔵野市いじめ防止基本方針」です。



当日の協議の様子

武蔵野市いじめ防止基本方針（平成 26 年 7 月策定）

武蔵野市及び武蔵野市教育委員会は、人権尊重の理念に基づき、小・中学校におけるいじめの防止等に取り組めます。

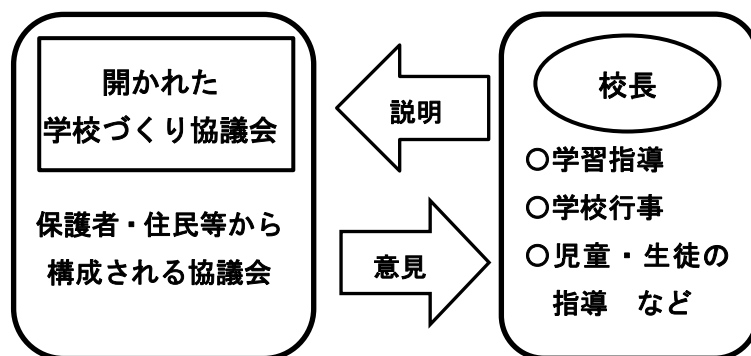
- いじめは、どの学校でも起こり得る問題であり、全ての子どもたちに関する問題です。子どもも大人も、いじめは絶対に許されない行為であることを十分に認識し、学校、家庭、地域及び関係機関が連携していじめの防止等を推進します。
- 子どもたちが、安心して生活できるよう、学校の内外を問わず、いじめの未然防止、早期発見及び迅速で確実な対応を組織的に行います。
- あらゆる機会を通して、子どもたちの健全育成を図るとともに、相談機能を一層充実させ、子どもたちの安全・安心を確保します。
- いじめは絶対に許されない行為であること、いじめを認識しながら放置することはいじめと同じ行為であることなど、子どもたちのいじめ問題への理解を深めます。
- 子どもたちが、いじめ問題を自らの問題であると受け止め、いじめ問題の解決に向けて、主体的に考え、行動できる力を育むとともに、心の通う人間関係を築き、明るく楽しい学校生活を実現できるよう支援します。



武蔵野市いじめ防止基本方針

各学校の「開かれた学校づくり協議会」が始まりました！

「開かれた学校づくり協議会」は学校運営（学習指導や学校行事等の教育活動に関すること、児童及び生徒の指導に関する事など）に関して、地域、保護者等から広く意見を求め、地域社会に開かれた特色ある学校づくりを進めるために、平成13年4月から各学校に設置された協議会です。協議会は年4回程度開催され、各学校の校長が招集します。



開かれた学校づくり協議会

委員には保護者、青少年問題協議会、コミュニティセンター、民生児童委員、幼稚園や大学の先生など、学校を支えてくださる地域の方々をお願いしており、年度当初には学校運営方針に対しご意見をいただくほか、学校の教育活動全般や学校運営の改善策に関するご検討いただいています。また、各校の代表者と教育委員会との協議も行われ、地域に開かれた学校づくりに大きな貢献を果たしています。

委嘱式

平成27年5月15日（金）、全小中学校18校の校長に推薦された委員の皆さまに宮崎活志教育長から委嘱状を交付しました。



宮崎教育長からの委嘱状交付

教育長からは、「学校は外にも内にも（地域社会にも子どもたちにも）開かれた場であってほしい」「その推進役となってほしい」との言葉がありました。その後、市立小中学校校長会長からご挨拶をいただき、教育委員会事務局から平成27年度の教育委員会の主要施策等について説明を行いました。



委嘱状交付式の様子

教育推進室の職員が、各学校の「開かれた学校づくり協議会」に訪問させていただき、同室の開設ご挨拶と、教育推進室の業務内容等について説明させていただきました。来年度、本協議会のご協力をいただきながら、教育推進室は学校支援に対してさらなる拡充をしていきたいと思っております。

訪問・ご挨拶

地域の人材 学校支援者リスト（仮称）

作成準備開始

学習指導者やゲストティーチャーなど、学校が必要とする地域人材を登録するためのリスト（学校支援者リスト）の作成に入りました。2学期以降は、大学や企業・NPO などにも登録をお願いする予定です。今後は、地域の方々をお願いする「地域コーディネーター」と連携しながら、学校を支援するための仕組みづくりを確立していきたいと思っております。

シリーズ 初任の先生 “今日もがんばる！” <その2>

「教育推進室だより」第1号では、初任者研修の開講式の様子をお伝えしました。受講者全員が教え子たちの瞳の輝きに負けないくらい真剣なまなざしで研修を受けている様子を全員の集合写真とともにお届けしました。本号では、「初任の先生 “今日もがんばる！” <その2>」として、6月9日（火）に実施した研修会についてご紹介します。



中学校分科会での研修会の様子

前半は、「安全指導について」でした。学校での児童生徒の生命や心身等に危害を及ぼす可能性のある様々なことごとについて、その内容と対応の仕方を、指導主事から具体的に学びました。

後半は、小学校と中学校に分かれて、小学校の教員に対しては、「学級経営の基本的な考え方や学級会の進め方について」の講義や演習を、中学校の教員に対しては、「生活指導の基本的な考え方やいじめ問題への対処について」の講義や事例研究を、教育アドバイザーを講師にしてそれぞれ実施しました。「人が成長するためには、素直な気持ちで誠実に相手の話や気持ちを受け止めることから始まる」という指導主事の言葉を重く受け止めながら、受講者全員ががんばった研修会となりました。何人かの先生方の声をご紹介します。

- ・「事故を起こさないために、子どもたちの安全を守るために、教室や学校の環境を見直したい。」
- ・「模擬学級会を通して、子どもたちにとっての居心地のよい学級づくりをしていく意欲が高まった。」
- ・「まず教師から言葉を大切にしたい。子どもの人間関係の変化に敏感になれるよう日々こまめに子どもと接するよう心がけたい。」

*シリーズ <その3> では、夏期宿泊研修会の様子をお伝えする予定です。



小学校分科会での研修会の様子

出前授業いたします

～地域で活躍している団体紹介 <その1>～

むさしの・こどもエコフォーラム（代表 富川昌美）



むさしの・こどもエコフォーラムのみなさん



出前授業の様子

環境問題に関心があり、理科の得意な小中学校教員のOBや現役の先生、大学教授、保育士などの方々が集まって、平成20年から武蔵野市内を中心に活動しています。関前南小学校や千川小学校の“あそべえ”では昨年度までに「虫の話 セミぶんぶん」や「プラスチックリサイクルの出前授業」、「本物で生きたハヤブサとの交流」など、延べ31回もの講座を開催しました。また、サイエンスフェスタでは、化石レプリカ作りが好評で毎年定員を超える人気のブースとなっています。

子ども時代の「驚きと感動」を大切に、地域や季節に密着した、生きものや実物標本などと触れ合うことを基本スタンスに活動しています。今後も、多くの子どもたちが感動と楽しさを味わいながら、理科や環境に興味をもつような活動を展開していきたいとのことです。そして、より多くの学校の子どもたちに「驚きと感動」を伝えていきたいとおっしゃっていました。

お問い合わせは、教育推進室または代表の富川さんへお電話を。電話・FAX 0422-52-5943



【お知らせ】

今回の教育推進室だよりでお気づきの点やご意見がありましたら、教育推進室までお寄せください。次号は教育アドバイザーによる授業観察や体育を専門とする学習指導員の活動等について紹介する予定です。